

7月豪雨災害に伴う市災害ボランティアセンターの活動を支援しています

7月9日（日）からの九州北部豪雨により、県内3市町（佐賀市・唐津市・伊万里市）で災害救助法が適用されたことを受け、佐賀市社協と唐津市社協では被災者支援のため災害ボランティアセンターを設置し、7月14日（金）からボランティア活動を開始されました。現在も、県内外からのボランティアの参加により、住民から寄せられる困りごとの解消を目指した被災者支援活動が行われています。▶本会では、各社協の被災者支援活動をバックアップするため、7月10日（月）17時に白井 誠 副会長を本部長とする「佐賀県社協被災者支援本部（佐賀県災害ボランティアセンター）」を立ち上げ、即座に、本会職員を佐賀市及び唐津市の災害ボランティアセンターに派遣し、ボランティア活動開始に向けたセンターの設営や導線の確認、ボランティアの受付から活動終了までの対応の流れ等について、各社協の職員と一緒に念入りの準備を行いました。現在も、関係機関との連絡調整や資機材調達等を各社協と協議しながら、伴走型の後方支援を実施しています。▶ボランティアの募集・登録に関する情報や日々の活動の様子については、特設サイト (<https://saga-shien-vc.jimdofree.com/>) または Facebook (<https://www.facebook.com/sagakencv>) にてご確認いただくことができます。

【まちづくり課】



〔災害ボランティアセンター運営の様子〕



〔本会職員による後方支援の様子〕

〔県・関係機関との連携〕
〔第2回復旧・復興推進チーム会議〕

新佐賀県社会福祉会館での業務を開始しました

昨年6月から改修工事を行っていた新佐賀県社会福祉会館については、今年5月末に完工、7月18日（火）新会館に移転し、業務を開始しました。

▶ 8月7日（月）には落成式を開催し、関係者の皆様にお披露目する予定です。▶ 新会館は県内の地域福祉活動の総合拠点として、様々な福祉情報の発信や福祉関係の会議・研修など、連携・協働の「プラットフォーム」として、世代を超えて交流が図られる会館となるよう目指してまいります。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

【総務企画課】



「BCP（業務継続計画）研修」を開催しました



【想定される災害に適切に対応できるBCP作成の重要性について学んだ】

福祉人材・研修センターでは、6月29日（木）に福祉従事者向けの「BCP（業務継続計画）研修」を開催し、47名の参加がありました。▶ 研修では、BCP（業務継続計画）の考え方や策定の背景、位置づけなどの基本的な知識の習得に加え、グループワークにおいてBCPの作成方法や運用のポイントについて学んでいただきました。▶ 受講者からは、「業務継続計画を作成したが、もう一度見直したい」「他施設では近隣の施設と連携をとっていると聞き驚いた」などの意見があり、講師からは「BCP作成のひな型をさらに活用してもらいたい」「施設ごとに想定される災害に適切に対応できるBCP作成に取り組んでほしい」と

アドバイスがありました。▶ 本センターでは、福祉従事者として必要な知識・技能の習得を図るため、オンライン等を活用した研修受講や動画視聴による映像研修など、受講しやすい研修を提供しています。職員の資質向上のために積極的なご参加をお願いします。

【福祉人材課】

「市町社協新任職員研修会」を開催しました



【研修では、講師(写真右上男性)も一緒になって熱心な討議が行われた】

5月31日（水）・6月14日（水）の2日間にわたり、「市町社協新任職員研修会」を開催しました。▶ この研修会は、入職後概ね3年の市町社協職員を対象に、地域福祉の動向や社協を取り巻く現状と課題や社協の役割、社協職員として期待されることを学び、強い使命感と高い志を持ちながら役割を果たすことができる社協職員の育成を目的に開催しました。▶ 研修では、県内12市町社協から22名の方にご参加いただき、九州大谷短期大学福祉学科長の中村秀一先生の講義や、先輩職員の実践報告、グループワーク等により、社協職員として必要な知識と心構え等について学びを深めていただきました。▶ 社協

が地域福祉の中核としての役割を果たすには、新任職員も含めた職員一人ひとりの力を高めていくことが求められます。本会としても、引き続き様々な研修の開催等を通じ、市町社協における地域福祉活動の活性化につながるよう努めてまいります。

【まちづくり課】

「第70回九州児童福祉施設職員研究大会」を開催しました



【こどもたちの未来のために児童福祉施設として
できることについて活発な意見交換が行われた】

佐賀県児童養護施設協議会(事務局：県社協)では、6月13日(火)から15日(木)の3日間、「第70回九州児童福祉施設職員研究大会」を開催しました。▶ 本大会は、「子どもに寄り添う児童福祉施設の可能性」をテーマに、九州地区の児童養護施設、乳児院、児童心理治療施設、児童自立支援施設等の施設長や職員を対象として開催しました。▶ 今年度は4年ぶりに集合での開催となり、約380名の参加がありました。2日目の分科会では「施設内支援の在り方と課題」「地域支援の一步をどう進めるか」自立に向けた食支援」「自立支援とアフターケア」をテーマに参加者間で活発な意見交換がされました。▶ 参加者

からは、「九州ブロック大会に参加したのは初めてでしたが、とても充実した3日間でした」「今回の研修で学んだことを職場に持ち帰り、他の職員へ伝えたい」等の意見があり、こどもたちの未来のために児童福祉施設としてできることを考える3日間となりました。▶ 本会では、今後も、こどもたちの健全な成長を目指し、施設の運営支援につながる質の高い研修等に努めてまいります。 【施設支援課】

お知らせ

◎ハローワーク出張相談 ※県内各ハローワークにおいて、福祉・介護・保育の仕事の就職相談会を行います。

8/8(火)唐津市、8/14(月)伊万里市、8/17(木)佐賀市、8/22(火)鹿島市、8/24(木)武雄市、8/28(月)鳥栖市

◎ 令和5年度(上半期)福祉人材・研修センター主催研修のご案内【予定表】 ※会場：県社会福祉会館(調整中)

研修名	開催方法	期日
【Ⅰ 階層別研修】		
1 指導的職員研修	併用型(オンライン・集合)	9月1日(金)
【Ⅱ 課題別研修】		
1 コーチング技法を活用した「人材育成指導力」向上研修	オンライン方式 担当者のイチオシ! 人間関係と指導を両立させるコミュニケーションスキルを習得できます。	8月21日(月)
2 ストレスマネジメント研修	併用型(集合・オンライン)	9月22日(金)
【Ⅲ 映像研修】		
1 新任職員研修(基礎編) ～新任職員として好スタートするために～	映 像	～令和6年 3月31日(日)
2 【新】 OJT トレーナー養成研修		
3 【新】 ハラスメント防止研修(リーダー向け)		

※県社協会員の場合、会員価格で受講できます。(価格例：会員5,000円・非会員8,000円)

※その他、資格取得のサポート研修も予定しています。研修実施の詳細については、本会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。(http://www.sagaken-shakyo.or.jp/)

★今号へのご感想等ございましたら、本会ホームページ内の

「お問い合わせ (http://www.sagaken-shakyo.or.jp/contact.html)」よりお知らせください。